

《専門教育科目 専門基礎科目》

| | | | | | |
|-------|--------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 子どもの保健 | | | | |
| 担当者氏名 | 葛本 ひとみ | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 1単位・選択 | 開講年次・開講期 | 2年・秋期 |

《授業の概要》

講義の形態：

- ・配布資料や教科書をもとに講義・実習・演習形式で行い、グループ形態の学習を取り入れる。
- ・パワーポイントで進め内容により各種実践的教材を用いる

- ・レポートの作成

学習方法：

- ・実習・演習内容を十分身につけ、実技小テストに臨むこと

《授業の到達目標》

子どもの健康と安全を守るため、必要な知識や技能を習得し実践力を養う。

- ・主な保健活動を理解し、保健活動年間計画の作成法や、PDCAサイクルによる保育実践の方法がわかる。
- ・豊かな生活ができる環境づくりや支援の方法を身につける

- ・疾病や事故の予防や、適切な対処方法について身につける

《成績評価の方法》

平常点、提出物、グループ(個人)発表、演習及びその態度

60% 実技小テスト 40%

《テキスト》

新版子どもの保健 佐藤益子/中根淳子編著 (ななみ書房)

《参考図書》

保育所保育指針 厚生労働省編 (フレーベル館)
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 内閣府 文部科学省
 厚生労働省 (フレーベル館)
 幼稚園教育要領 文部科学省 (フレーベル館)

《授業時間外学習》

【予習】「子どもの保健 の授業計画表」により学習範囲を確認し、テキストを熟読すること。実技に使用する配布プリント・準備物は、必ず用意して授業に出席すること。

【復習】テキストと配布プリントの見直しを行い、実技小テストに向けての各回の学習・演習の復習をすること。

《備考》

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容など |
|----|-------------------|-------------------------------------|
| 1 | 保健活動の計画と評価 | 保健活動、保健計画の作成と活用 |
| 2 | 保健活動の計画と評価 | 保健活動の記録と自己評価 |
| 3 | 保健活動の計画と評価 | 子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康と安全・衛生管理 |
| 4 | 子どもの保健と環境 | 保健における養護と教育の一体性、子どもの健康増進と環境 |
| 5 | 子どもの保健と環境 | 子どもの生活習慣と心身の健康 |
| 6 | 子どもの保健と環境 | 子どもの発達援助と保健活動 |
| 7 | 子どもの保健と環境 | やってみよう |
| 8 | 子どもの疾病と適切な対応 | 感染症の予防と対策 |
| 9 | 子どもの疾病と適切な対応 | 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応 |
| 10 | 子どもの疾病と適切な対応 | 障がいのある子どもへの適切な対応、やってみよう |
| 11 | 事故防止および健康管理・安全管理 | 事故防止および健康管理・安全管理への組織的取組、災害への備えと危機管理 |
| 12 | 事故防止および健康管理・安全管理 | 子どもに起きやすい事故の応急手当 |
| 13 | 事故防止および健康管理・安全管理 | 子どもに起こりやすい症状とケア |
| 14 | 心とからだの健康問題と地域保健活動 | 子どもの養育環境と心の健康問題、発達障害、小児在宅医療 |
| 15 | 心とからだの健康問題と地域保健活動 | 心とからだの健康づくりと地域保健活動 |